



実績報告書

《速報版 Vol.1》

開催概要

新型コロナウイルスによる制限が無い環境下での通常開催は、4年ぶりとなった。8回目となる今回は、『NEW WORK, NEW WORLD -新たな出会い、広がる世界-』をテーマに令和5年10月7日(土)、8日(日)10時~16時にビッグパレットふくしまで開催。190社・団体が280ブースを展開し、出展内容により9つにゾーニングした。6日(金)には、内覧会を実施し、入場者数は、3日間通して24,186人で過去最多となった。今年度の取り組みとして、オープンファクトリーKORIYAMAと連携し、小学生の夏休み自由研究の題材として工場見学バスツアーを企画した他、6日(金)には地元高校生および大学生150人を招いて、午前中に出展者の工場見学を行った後、会場入りしDX大賞等タイアップ事業と、産業博内覧会に参加頂いた。EXPOワークショップには40社が参画。数千人にのぼる来場者に、地元産業を体験頂いた。開催後実施したアンケート調査によると出展者および来場者の「満足」以上がそれぞれ97%、98%となり、こちらも過去最高評価となった。

DATA

2023/10/6 ▶ 10/8

▶出展者数:

190 社・団体 **280** ブース
(前年対比 126%)

▶入場者数: 6日(金) 630人

7日(土) 10,908人

8日(日) 12,648人

合計 **24,186** 人

▶ホームページ閲覧数:

2023/9/21-2023/10/20

34,938 ビュー

人気コンテンツ:

出展者一覧 7,512 ビュー

ワークショップ 2,840 ビュー

食/スイーツゾーン出展者一覧

1,713 ビュー

= 目次 =

1. KORIYAMA EXPO AWARD 2023	…P1
2. 出展者アンケート	…P2-3
3. 来場者アンケート	…P4-5



目的

こおりやま産業博 KORİYAMA EXPO 2023 に出展する企業・団体のなかで、他の出展者・来場者の参考となる、先進的な提案内容に対して賞を交付し、出展者の今後の励みとするとともに、地域産業の発信と振興に繋げる。



対象

こおりやま産業博 KORİYAMA EXPO 2023 出展企業・団体

審査方法

実行委員会が委嘱する審査員が、会場内で対象となる全出展者のブースを見て下記審査基準により評価する。その後、別室で評価表をもとに協議し、受賞者を決定した。

賞の内容

○グランプリ…1点 ○準グランプリ…2点 ○審査員特別賞…1点
それぞれ賞状・受賞パネルを授与

審査基準

- ①アイデアなど事業の革新性・デジタルの有効活用度
- ②将来にわたって期待できる成長性
- ③雇用促進・創業意欲の向上など地域貢献への期待度
- ④出展内容のわかりやすさ・優れた提案方法
- ⑤事業に懸ける熱意や想い

審査員

- ①福島県ハイテクプラザ 所長 大和田野 芳郎氏
- ②福島県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 木村 俊朗氏
- ③福島県デザイン振興会 会長 西家 千尋氏
- ④郡山販売士会 会長 高橋 恭子氏
- ⑤一般社団法人福島県発明協会 窓口支援担当者 金澤 延人氏

グランプリ

浅野燃糸株式会社 様
(くらしゾーン)



評価点

独自の技術で開発した燃糸を使ったタオルは軽さ・吸水性の高さに評価が高く、自社製品はこれまで1,600万枚販売した実績を誇る。2023年3月には双葉町に新工場を完成し、地域の復興・交流人口拡大に貢献している。こおりやま産業博では企業のものづくりに懸ける姿勢と、糸に燃糸をかけた燃糸という、素材の役割や重要性をわかりやすく説明し、手に取って触れる機会を提供した点が評価された。

準グランプリ

株式会社ココビスタ 様
(教育・支援機関ゾーン)



評価点

待機児童の増加という社会問題に対応すべく、スポーツ事業・放課後児童クラブを運営している。スポーツや遊びを通した子供達の居場所づくりや、様々な「経験」の提供による子供の可能性の最大化の取り組み、新たなソーシャルビジネスの確立を目指している。こおりやま産業博では企業の取り組みに加え、子供達にスポーツプログラムの体験を実施した点が評価された。

準グランプリ

東栄産業株式会社 様
(食・スイーツゾーン)



評価点

本業は建材の卸。2009年より異業種進出事業で福島県産の野菜などを使ったジャムの製造販売を行っている。100%手作りのジャムは味・品質・安全性に優れており、ボトルやパッケージのデザインも高いためギフト商品としても人気がある。原料は地元の契約栽培農家から仕入れるなど、生産者の支援にも積極的に取り組んでいる。こおりやま産業博では商品力や提案方法、地域貢献への期待度が評価された。

審査員特別賞

オープンファクトリー
KORIYAMA
実行委員会 様
(ものづくりゾーン)



評価点

複数企業の共同団体により、子供から大人まで幅広い世代に対してものづくりの素晴らしさ、地元企業が工場でどんな製品を作っているかわかりやすく伝えるための活動を行っている。こおりやま産業博ではものづくり体験プログラムにより、活動の趣旨をわかりやすく伝えていた点が評価された。

過去実績

「2018」

グランプリ

株式会社 進和クリエイティブセンター 様

準グランプリ

保土谷化学工業 株式会社 様
株式会社 アサヒ研創 様

「2019」

グランプリ

株式会社 東北村田製作所 様

準グランプリ

株式会社 ユニフォームネット 様
福島県立郡山北工業高等学校 様

「2022」

グランプリ

株式会社 日本遮蔽技研 様

準グランプリ

株式会社 大関 様
丸栄ふとん店 様

出展者アンケート集計 (125 社回収【回収率 74%】)



Q1.出展の目的

※複数回答可

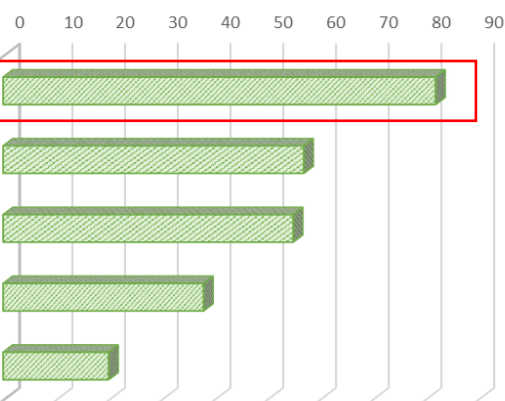
商品・製品・サービスPR

新規顧客開拓

販売目的

企業間交流

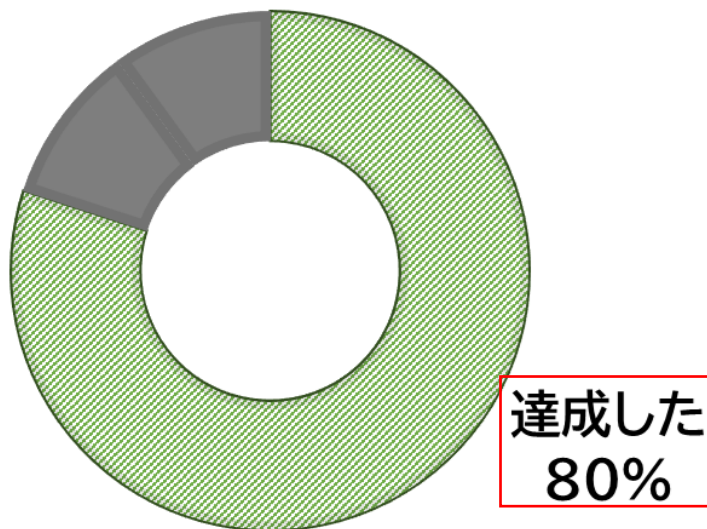
企業間取引促進



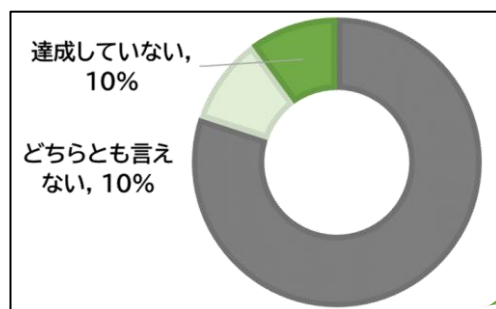
▶商品・製品・サービスの PR は、全体の 64%が目的としてあげており、最も多くなった。

Q2.目的を達成したか

(2022 実績:達成した 78%)



▶目的を「達成した」と回答した出展者は 80%となり、昨年度よりも 2%微増した。また、それ以外の回答の内、「どちらとも言えない」、「達成していない」がそれぞれ 10%となった。「どちらとも言えない」の内、ほぼ 100%が当日行った商談の結果が出ていないという理由。「達成していない」の内、6 割が売上目標に到達しなかったと回答し、残り 4 割は、初出展の為、客層を見誤ったというのが理由となった。しかし、昨年度も同様の理由で達成できなかったと回答した 10 社は、改善を図り、今回の調査で全社が「達成した」と回答した。



【短評】

125 社・団体から出展者アンケートを回収し、集計を行った。

(回収率 74%)

自社 PR のために出展している企業が多く、80%が目的を達成したと回答。

当日物販を行った企業の平均売上は平均 138,668 円/社となり、昨年度比 138%となった。

また、商談件数は 326 件となり、内、65 件が商談成立。215 件は継続商談となった。

(10/20 現在)

自社の商品、サービスをきちんと説明できた数は、平均で 98 人/日となった事もあり、こおりやま産業博の満足度は、98%が“満足”と高い結果となった。

次年度の課題としては、BtoB 促進の強化を図る。

Q3.開催期間中の売上平均

7日(土) **64,327** 円/社

※回答 62 社

8日(日) **74,341** 円/社

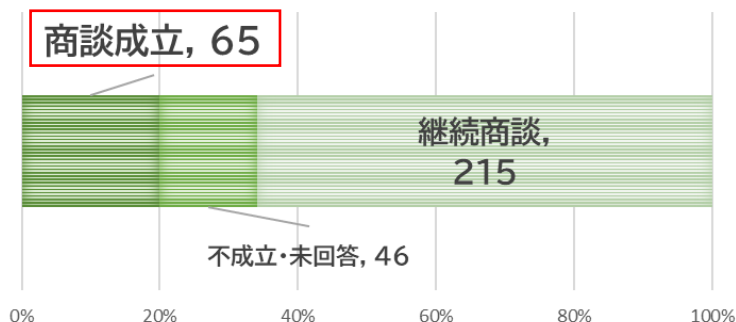
※回答 59 社

(2022実績:50,371円)

▶開催期間中の各ブースの売上平均としては、7日が64,327円、8日が74,341円。両日での平均は69,334円となり前年度比138%となった。

Q4.期間中の商談件数【合計 326 商談】

※回答35社 (2022実績:292商談)



▶期間中の商談件数は326商談。内、20%が商談成立。67%が継続商談となった。

Q5.自社商品・サービス等をきちんと説明できた人数

7日(土) **92** 人/社 ※回答 116 社

8日(日) **104** 人/社 ※回答 113 社

(2022実績:63人/社)

▶自社の商品・サービスをきちんと説明できた人数は、両日で平均98人/社となり、前年度比156%となった。今年度の来場者数が多かった事が要因の一つと考えられる。

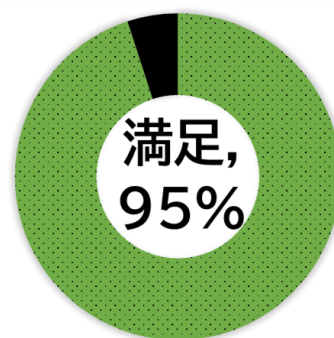
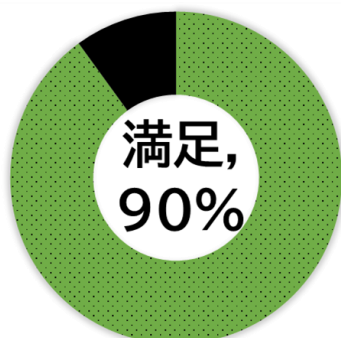


Q6.満足度調査 (2022実績:一般公開日 97%)

□6日(金)内覧会

□7日(土)・8日(日)一般公開

□ワークショップなどの企画



▶出展者の満足度調査の結果は、6日内覧会、7・8日一般公開、企画の全ての設問で90%以上が「満足」と回答。特に土日両日の一般公開日は、98%と過去最高の評価となった。

また、一方でBtoB中心となる金曜日については、拡充を求める声も多数ある事から、次年度以降に改善を図りたい。

Q7.産業博の感想

- ・おかげさまで売売となりました。他業種の方ともお話しさせて頂く機会になり、今後良いお付き合いができるように頑張りたいです。
- ・初めての出展でしたが、もっとこうすればよかったという部分が多かったです。来年はぜひ課題を活かした出展をしたいです。
- ・ビジネスマッチングをもっと行いたいので、サポートを強化して頂きたいです。

来場者アンケート集計 (1,888 名回収)

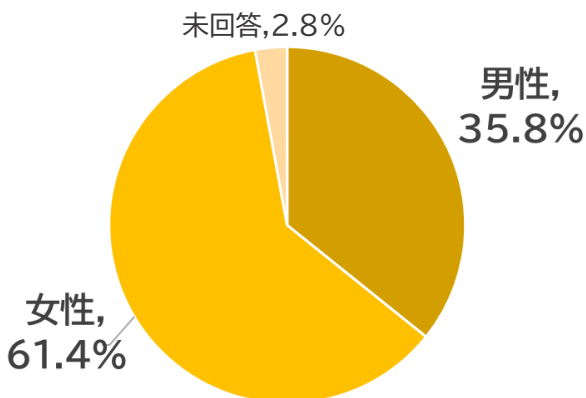


【短評】

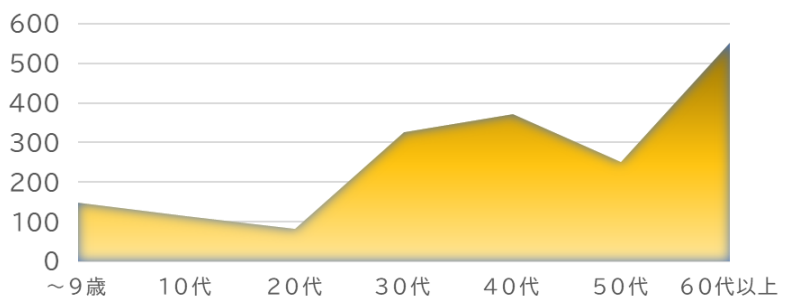
年齢層は 30 代と 40 代、60 歳以上が多く、職業別では、会社員、主婦、学生と続く。郡山市民が約 8 割と多いが、市外からも近隣市町村を中心に一定数来場頂いた。1 組当たりの構成人数の平均は 2.84 人で、会場内での購入金額平均は 2,807 円であった。滞在時間の平均は 2 時間 49 分と、目標の 1 時間 30 分を大きく超えた。これは 40 社以上で実施したワークショップの影響が大きいと推測される。

また、今年度より市内の幼稚園、小学生に配布した DM が功を奏し、イベント情報の周知が図れた。来場者の感想については、97%が「良かった」と回答するなど好評であった。

Q1.性別

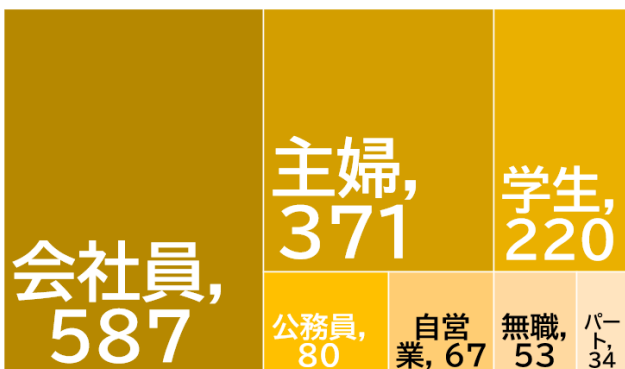


Q2.年齢

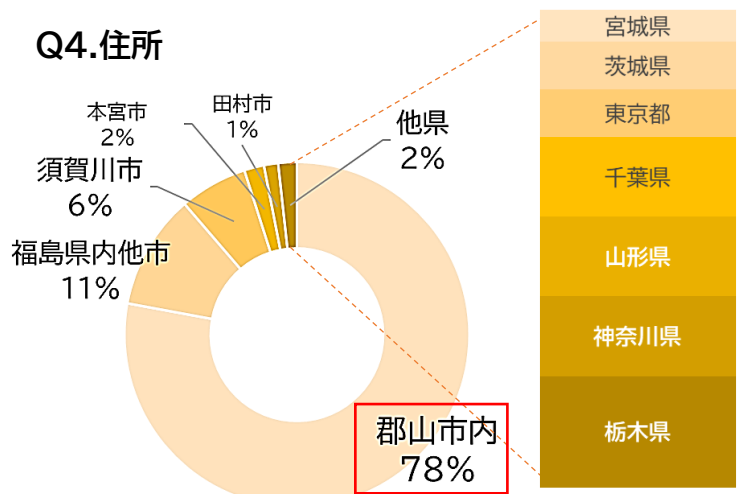


▶30 代、40 代、60 代以上が多い結果となったが、小学生幼稚園生には、抽選会くじ付き DM を配布している事からアンケートは保護者が回答している為と推測される。

Q3.職業



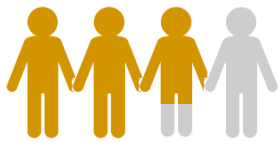
Q4.住所



▶職業としては、会社員、主婦、学生がトップ3となった。

また、郡山市民が 78%となるが、市外県外からも一定数来場していることが分かる。

Q5.来場1組の構成人数

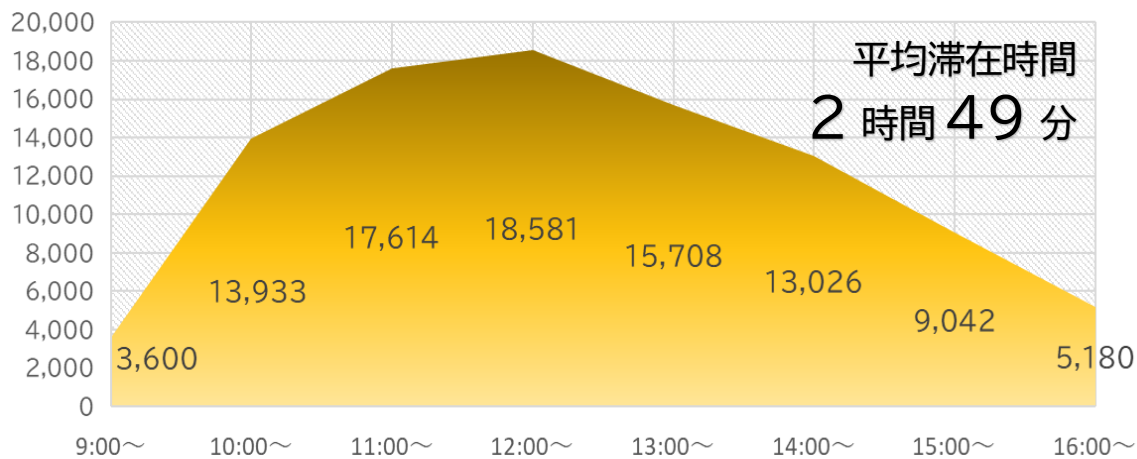


2.84 人/組
(1~12人)

Q7.購入金額平均

¥2,807 円
(100~30,000円)

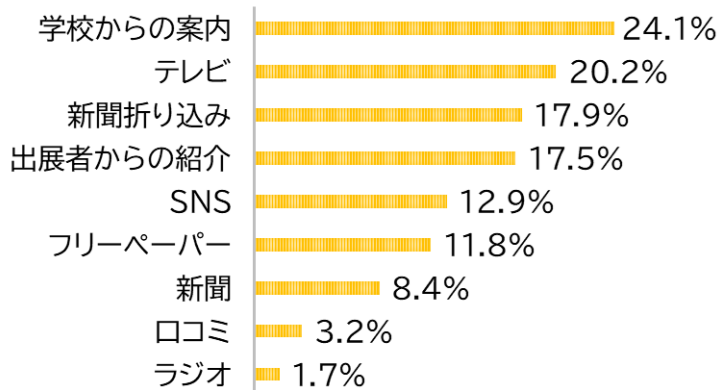
Q6.時間帯別会場内収容数 (24,186人換算/両日合算)



▶両日ともに11時台から12時台に会場内に1万人近くの来場者がおり、平均滞在時間は2時間49分である事が分かった。また、10時の開場から16時の閉場までの6時間滞在した方も7%いた。

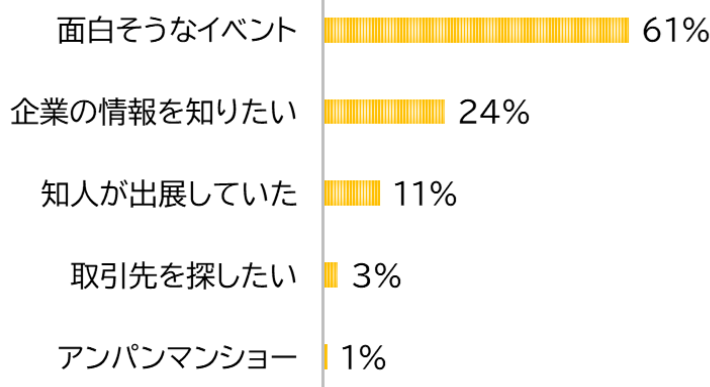
来場1組当たりの構成人数は、1人から多い集団で12人となったが、平均すると2.84人。また、1組がイベントで使った購入金額の平均は2,807円であった。

Q8.産業博について見た(聴いた)媒体



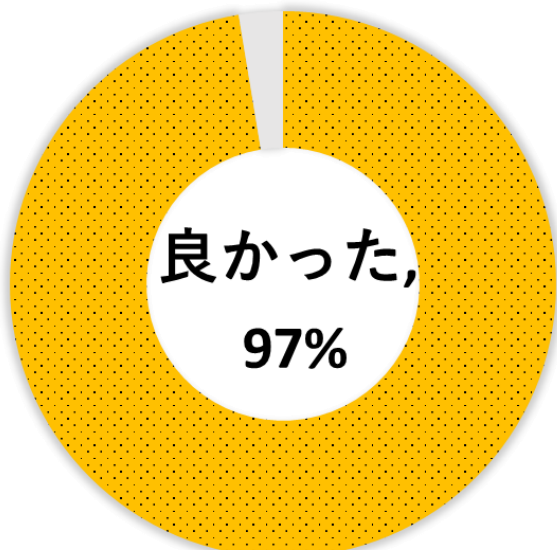
Q9.来場理由

※Q8,Q9ともに上位のみ掲載。複数回答可



Q10.こおりやま産業博の感想

(2022実績:良かった87%)



《来場者の声》

- ・体験したワークショップが全て楽しかった。
- ・働いてみたい企業があった。
- ・学校で習ったばかりの展示があつて大変ためになった。
- ・思った以上の多くの企画があつて驚きました。郡山に20年近く住んでいますが、今回初めて参加しました。来年もまた来ます。
- ・ARやVRなど新しい技術の展示もあつて面白かった。
- ・地元にたくさん良い企業があることを知るきっかけになった。
- ・目からウロコの出展内容が多かった。
- ・出展者さんの対応がとても丁寧で感動した。
- ・どのブースも見応えがあつた。

こおりやま
産業博
KORIYAMA EXPO 2023

▶▶▶ NEXT

《 予 定 》

こおりやま産業博 2024

◆日時:令和 6 年

10/11(金)・12(土)・13(日)

◆会場:ビッグパレットふくしま